

F-13 未婚女子の余暇について (第2報)

—余暇の使い方—

四天王寺女短大 ○岸田キクエ
大阪府庁労働部 篠原 冬

1. 2. 前報と同じ

3. 平日の余暇は受動的に消費していて、能動的余暇が少なく、短大生30%就職者35%で、主婦の23%に比してはやや積極的である。短大生と就職者についてみると、休養とおけいこに差があり、就職者の方が休養が少なくおけいこに消費することが多い。更に就職者中、職種によってみると、やはり休養とおけいこ更に勉強に差が見られ、専門職では休養を多くとり勉強も多く、おけいこは少ない。学歴別にみると、テレビ、ラジオ、買物、読書に差がみられ、大学卒では読書が多く、テレビ、ラジオ、買物が少ないが、中卒はその反対で、高校卒はそれらの中間であった。休日の余暇については、平日より多いと答えたもののうち、短大生68%、就職者66%が平日とちがった計画をしていて、土曜日におけいこ、日曜日には戸外活動が多い。又主婦の余暇の使い方と比べて、買物が余暇活動に考えられる傾向が目立った。